

水の流れ

テーマ 森林の保水能力や浄化力を知ってもらう

時間 半日以内

場所 川

人数 何人でも

季節 春夏秋冬

用具 ペットボトル (5×人数分)、
ビーカー等 (5×人数分)
メスシリンダー (5×人数分)、水計り、時計

ながれ

- 1.同じサイズのペットボトルの頭をカットし、底に穴を開けたものそれぞれに同じ体積の下記の土を入れます。
1) 砂利 2) 砂 3) 校庭の土 (又は畑の土) 4) 林の土 (落葉層の下
の土) 5) 落葉層
あらかじめ、それぞれの重量を量っておきます。
- 2.参加者に、「この中に水〇リットル入れたとき、どれが一番多く穴から出てきますか?」と予想してもらいます。
- 3.参加者に協力してもらい、いっせいに水を入れます。穴の下でメスシリンダー等で水を受けます。
- 4.水の出てくる時間、量等を観察・記録します。
- 5.ある程度水が出つくしたら、それぞれの重量を測ってみます。
- 6.余裕があれば、入れた水を石鹼水や、香料を入れたものにしたりして、出てくる水と、濁りや匂いの差の違いを感じてみましょう。また、校庭や畑及び林の中で、バケツの水をまき、吸い込まれるスピードを比べてみるのも面白いです。



ポイント 森の土とその他の土の違いをよく観察しよう。